

本文	説明
<p>1 一人ひとりを大切にする</p> <p>1 課題 高齢化の進行や、所得格差の拡大、グローバル化による国内外の交流増大等を背景に、多様な人が社会で不便や疎外感等を感じる状況が、今後広がっていく可能性があります。 市民一人ひとりがお互いに人権を尊重して多様性を認めあう意識をもち、ハード・ソフト両面から、「ユニバーサルデザイン（UD）」、すなわちはじめから誰もが利用しやすいまちや建物、製品、環境、サービスづくりを推進し、常に見直しと改善を重ねることで、年齢・性別・文化・身体状況など人々が持つさまざまな個性や違いを越えて、誰もが安心して快適にくらせる「人にやさしい・人がやさしい」社会の実現をめざす必要があります。</p> <p>2 取り組みの方向性</p> <p>(1) 一人ひとりを大切にする意識づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 一人ひとりの市民が人権意識をもち、日常生活の中での主体的な行動へ結びつけるための、人権教育・啓発の推進 多様な市民が互いに認めあい支えあう意識づくりとこれを担う人材の育成(①) こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)(②)を核とするUDの普及啓発、地域・学校での教育と人材育成 外国人市民がくらしやすいまちづくりの実現(異なる文化・伝統の理解促進) 男女共同参画社会の実現(男女共同参画意識の啓発、配偶者等からの暴力(DV)防止対策の推進) <p>(2) 誰もが参画できるしくみづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 市による全施策のUD化と継続的な点検と、常に改善を図るためのしくみづくり(③)の推進 市民・事業者・各種団体等がUDの視点で共に考え、取り組むためのしくみづくり(④) 情報のUD化(⑤)の推進(情報の収集・活用・発信及び情報を用いた自己決定における情報の平準化) ICTの活用等による、高齢者や障害者をはじめすべての人がくらしやすい社会づくり 外国人市民の市政参加や社会参加(⑥)の推進 すべての市民が働きやすい環境づくりの推進 障害者の就労支援や雇用の改善等の取り組みの推進 <p>(3) 安全・安心で快適なまちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> まち全体を視野にいたUD政策の推進(⑦) 住民参画による、誰もがくらしやすいまちづくりの促進(⑧) 	<p>① 意識づくりを担う人材の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域や学校等においてUD授業の講師を担当し、ユニバーサルデザイン(以下、UD)の意識づくりの普及啓発を行う「こうべUDサポーター」の人材育成をこうべUD大学等において行う。 (平成21年度末 1,121人) <p>② こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成15年5月、市民の呼びかけで、UDの輪を一層広げ、神戸を世界一、人にやさしい・人がやさしいユニバーサルなまちにしていきたいために、市民、事業者、学校等、NPO、地域団体、行政が連携体として取り組みを行うために「こうべUD広場(こうべユニバーサルデザイン推進会議)」が発足した。 「こうべUD広場」では、「こうべUDフェア」等イベントの開催や地域や学校での「UD講座」、空港やしあわせの村など市内施設の「UD検証」を企画実施している。また「こうべUD大学」の開催を通して、UD講座の講師としてUDサポーターの人材育成を行うなど、UDの推進の取り組みを行っている。 <p>③ 市の「全施策UD化、継続的 point 点検、常に改善」のためのしくみづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 事務のUDチェックマニュアルを平成21年度中に作成し、22年度から順次UD事務チェックを実施し、UDの視点で事業ができていないか、職員としてUDの意識を持つことができるかどうかの自己点検を行う。 既に、市のイベント事業のUDマニュアルを作成している。それに基づき、外郭団体を含む市が開催するイベントで100人以上の市民が参加し、広報紙等でPRしている事業について、該当全部局がUDの視点で自己チェックを行っており、イベント事業のUD化をめざしている。これは、神戸2010ビジョンのチャレンジ指標の一つにもなっている。 <p>④ 市民・事業者・各種団体等がUDの視点で考え取り組むしくみ</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校の総合的学習の時間等を活用してのUD授業、企業研修、地域団体の研修等にUD講座やユニバーサルサービスチェックを実施し、各主体がUDの視点で活動(行動)できているかどうかのチェックと今後のまちづくりにどう活用していくかの検討を定期的実施していく。 <p>⑤ 情報のUD化</p> <ul style="list-style-type: none"> 各主体(市民・地域団体等・事業者・学校等・行政)がUDの意識を持ち、常に見直しをはかりながら、だれもが同じレベルで情報を共有することができるように情報のUDを進める。 市のホームページ、広報媒体、サイン等のUD化を進める。 外国人市民への案内サイン、印刷物等の多言語化を進める。

(4) 市民の主体的な誰もが使えるものづくりを推進

- ・多様な消費者の声を取り入れながら誰もが利用できるUDに配慮した商品の開発の推進
- ・UD商品(⑨)に関する情報の市民への発信、利用促進

めざす将来の姿(事務局仮案)

- ・市民一人ひとりがお互いに人権を尊重して多様性を認め合う意識をもち、そうした「意識づくり」を核として、市民・事業者・行政が共通の理解と目標のもと、「仕組みづくり」、「まちづくり」、「ものづくり」の各分野において、ハード・ソフト両面から、ユニバーサルデザイン(以下、UD)、すなわちはじめから誰もが利用しやすいまちや建物、製品、環境、サービスづくりを推進し、常に見直しと改善を重ねていきます。
- ・こうした取り組みを通じて、年齢・性別・文化・身体状況など人々が持つ様々な個性や違いを越えて、誰もが安心して快適に暮らせる「人にやさしい・人がやさしい」社会の実現をめざします。

⑥ 外国人市民の市政参加や社会参加

- ・神戸市国際化推進大綱(平成18年3月策定)に基づき、「多文化交流と融合が進むまち」を目標として、外国人市民の方々が活動しやすく、安全で安心して暮らせるまちづくりを進めている。
- ・案内板の多言語化、多言語相談など外国人市民のワンストップサービスの充実や区役所窓口電話通訳システムの拡充、全区役所に多言語避難所マップの掲示など、災害時における在来外国人支援を進めてきている。
- ・今後、外国人市民に対する効果的な広報、緊急時の多言語情報発信、区役所窓口における同行通訳の試験実施などを進めていく。

⑦ まち全体を視野にいたしたUD政策の推進

- ・ハード面でもまちの面的な整備を進めていく。

⑧ 住民参画による、誰もがくらしやすいまちづくりの促進

- ・まちづくり協議会、ふれあいのまちづくり協議会などと連携して、UDの視点から地域課題解決にむけての学習会やワークショップなどを行い、住民主体のまちづくりを進める

⑨ UD商品(UDに配慮してつくられた商品)

- ・完全なUD商品といえるモノはないが、UDに配慮してつくられた商品に関する情報を市民へ発信し、利用促進をはかる。

UD 7原則(簡潔で、かつ、覚えやすく表現された基本的な考え方)

- 原則1: 誰にでも公平に利用できること
- 原則2: 使う上で自由度が高いこと
- 原則3: 使い方が簡単ですぐ分かること
- 原則4: 必要な情報がすぐに理解できること
- 原則5: うっかりミスや危険につながらないデザインであること
- 原則6: 無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に使用できること
- 原則7: アクセスしやすいスペースと大きさを確保すること

(UD商品の例)

- ・垂直リフト「チョータくん」(家庭用電源でも稼働可能な段差解消用の垂直リフト)
- ・UD引き戸装置「チョータさん」(両手がふさがったり車いすに乗ったままでも自動開閉が可能な引き戸)
- ・すべらんうどん(うどんにスリット(切れ目)が入ることで、箸を使えない小さな子供や外国人、手に力が入らない人にも食べやすいうどん。スリットがはいっていることで、味がよくしみ、おいしいうどん)
- ・UD包丁(グリップの形や角度を自由に変えることができ、力が入りにくい人や椅子に座って使い人にとって使いやすい包丁)

(参考) 協働によるユニバーサルデザイン推進の取り組み事例

(1) こうべUD広場を中心にした取り組み

(名称) こうべUD広場 (こうべユニバーサルデザイン推進会議)	
(設立) 平成15年5月	
(実施主体) 市民、事業者、学校等、NPO、地域団体、行政等	
(取り組み例①) こうべUD広場からの呼びかけ「世界一ユニバーサルなまち神戸をめざして」 (平成16年3月策定)	<p>1). 今、なぜ神戸でUDの取り組みが必要なのか、</p> <p>2). めざすユニバーサルなまち神戸の姿とは何か、</p> <p>3). 取り組むべき具体的な内容とは何か、 等</p> <p>※特に、具体的に取り組む内容については、ユニバーサル社会の実現のために最も重要で基本となる「意識づくり」を核として、「まちづくり」や「ものづくり」、そして、社会の制度や基準などの「しくみづくり」まで見直していこうと呼びかけている。</p>
(取り組み例②) こうべUDサポーター(ユニバーサルデザイン推進サポーター)による取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・上記「呼びかけ」をまち全体に広げ、様々なユニバーサルプロジェクトを展開していくため募集。 ・平成20年度末時点で1,121人を登録。 ・平成16年には、活動拠点として、こうべ市民福祉交流センター内に「こうべUDサポーター活動コーナー」を設置。 ・以降、しあわせの村、神戸地下街案内サイン、神戸空港UD検証、こうべUDシンボルマーク公募、神戸でのUD全国大会などに取り組む。 ・20年度からは、UDサポーターを地域・学校等に派遣してUD授業を行い、市民主体のUDの普及啓発を図っている。
(取り組み例③) UDの普及啓発のための講座等	<ul style="list-style-type: none"> ・16～17年度、こうべUD連続講座を開講(全6回)し、こうべUDフェア2005に向けたPRや市民主体の取り組みを展開。 ・18年度、こうべUD大学連続講座「UD市民講座」を開講(全12回)し、市民啓発やUDリーダー養成を実施。 ・19年度以降、「こうべUD大学」を開講(年12回)し、UDの普及啓発と人材育成を目的に、基礎講座やワークショップ、見学会など、実践を踏まえながら学んでいる。

(2) 長田区UD研究会の取り組み

(名称)	長田区UD研究会
(設立)	平成13年7月
(実施主体)	企業、障害者当事者団体、NPO、ボランティア、住民組織、小中学校の教諭、行政など
(内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・区民と行政が一体となってユニバーサルデザインについて研究し、その考え方を広くまちづくりに反映させ、人にやさしいまちづくりを推進することを目的に結成。 ・毎月1回、定例研究会を開催。
(実施事業)	<ul style="list-style-type: none"> ・PRイベントの開催（「長田発 第8回こうべユニバーサルデザインフェア」） ・アイデアコンテストの実施（「神戸ユニバーサルデザイン大賞」） ・小中学校への出張授業・商品の販売（長田中央いちば内） ・ユニバーサルデザイン商品の展示（長田区役所内）など ・平成20年8月8～9日には新長田ピフレホール他でUD全国学習大会を開催。 ・長田区UDフェア

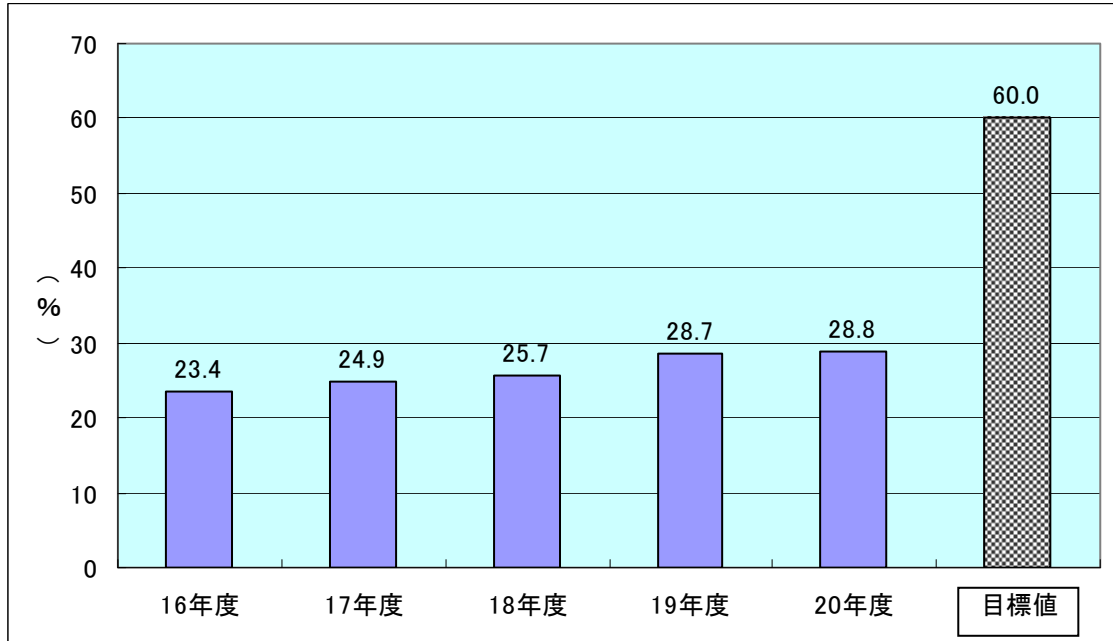
(3) その他の区での取り組み

東灘区	<ul style="list-style-type: none"> ・東灘区まちづくり協議会UDワークショップ（平成18年2月） ・本山南夢叶エプロン外会議UDまち歩き（平成19年11月） ・東灘区老連UD講座（平成19年8月） ・本2プラザUD講座（平成20年8月）
灘区	<ul style="list-style-type: none"> ・篠原ふれまち協UD文化祭（平成19年11月） ・ふれまちUD講演会（平成20年11月） ・篠原UD学習会、ワークショップ（平成21年4月～）
兵庫区	<ul style="list-style-type: none"> ・UDモダンシニアファッションショー（平成19年11月・平成20年12月）
須磨区	<ul style="list-style-type: none"> ・区民まちづくり会議 ユニバーサルデザイン部会の発足（平成16年1月） ・UD学習会（平成19年9月） ・「人にやさしいまち」UD地域学習会・ワークショップを地域単位で開催（平成20年7月～11月東須磨・竜が台、平成21年9月～11月高倉台・竜が台）
西区	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトサインの公募（平成15年8月） ・UD農園発信事業（平成17年度～19年度）

《UD 関連データ》

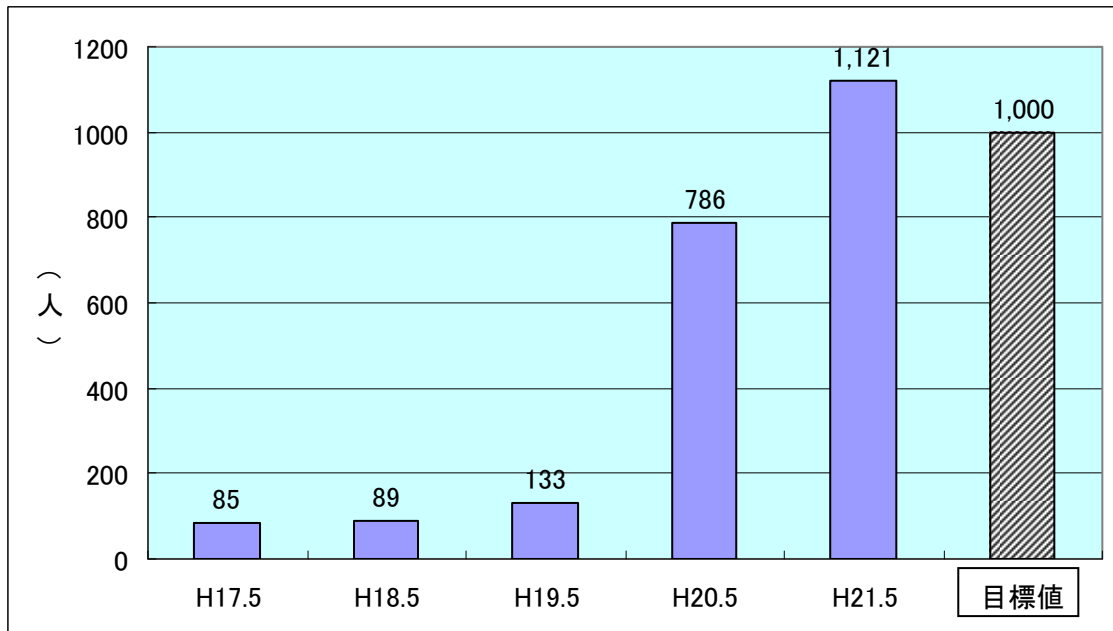
1. ユニバーサルデザインの言葉も考え方も知っている市民の割合

(神戸市民1万人アンケートより)



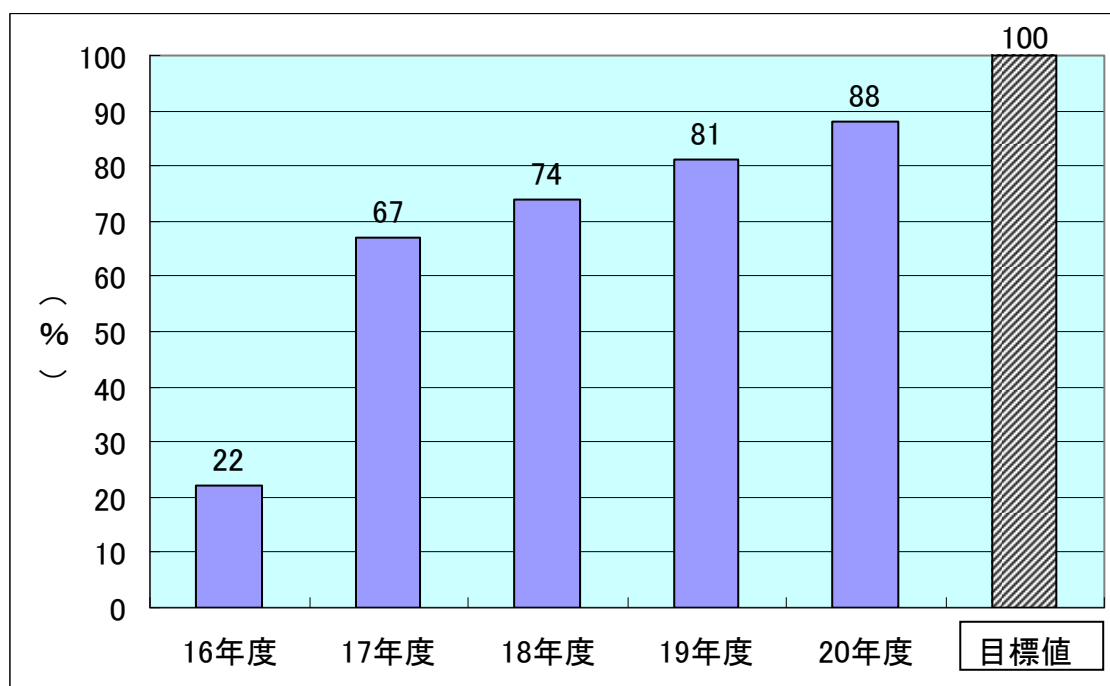
2. UD サポーター登録数

(神戸市保健福祉局調べ)



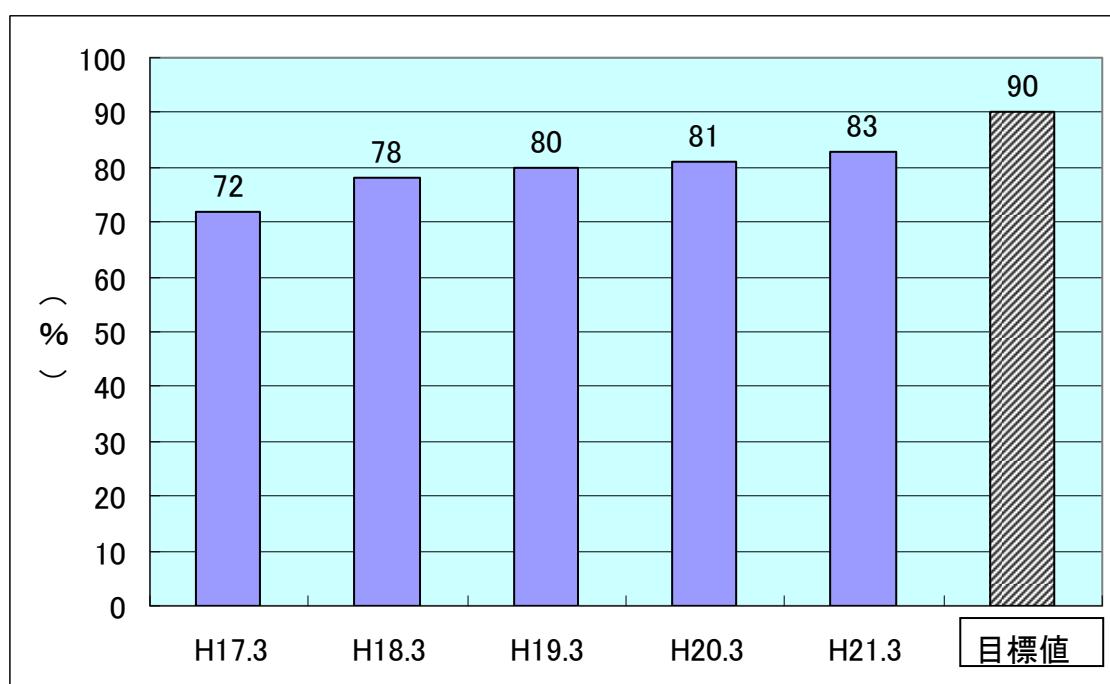
3. 市が開催するイベントのUD評価Aランクの割合

(神戸市保健福祉局調べ)



4. 市内駅舎のエレベーター等整備率(乗降客数5千人以上)

(神戸市保健福祉局調べ)



5. 市有建築物等(新增改築)のユニバーサルデザインへの取り組み割合

(神戸市都市計画総局調べ)

